

職員自己評価結果（保育）

	A	B	C	D
1	44.8%	51.8%	3.4%	
2	65.2%	34.8%		
3	57.1%	42.9%		
4	69.0%	31.0%		
5	26.0%	74.0%		
6	44.8%	55.2%		
7	31.0%	55.2%	13.8%	
8	50.0%	35.8%	14.2%	
9	46.4%	50.0%	3.6%	
10	30.5%	60.9%	8.6%	
11	26.9%	53.9%	19.2%	
12	37.9%	44.9%	17.2%	
13	35.7%	46.4%	17.9%	
14	25.0%	58.4%	16.6%	
15	55.6%	44.4%		
16	55.2%	41.4%	3.4%	
17	38.0%	62.0%		
18	57.1%	42.9%		
19	8.0%	52.0%	36.0%	4.0%
20	33.3%	62.0%	4.7%	
21	63.6%	36.4%		
22	60.0%	40.0%		
23	78.6%	17.9%	3.5%	

職員自己評価結果（調理）

	A	B	C	D
1	80.0%		20.0%	
2	40.0%	60.0%		
3	80.0%	20.0%		
4	80.0%	20.0%		
5	80.0%	20.0%		
6	33.4%	66.6%		
7	100.0%			
8	75.0%	25.0%		
9	60.0%	40.0%		
10	100.0%			
11	100.0%			
12	80.0%	20.0%		
13	75.0%	25.0%		
14	75.0%	25.0%		
15	100.0%			
16	100.0%			
17	100.0%			
18	25.0%	50.0%	25.0%	
19	100.0%			
20	100.0%			
21	50.0%	25.0%	25.0%	
22	100.0%			

【令和4年度金沢愛児園自己評価】

1 子どもの権利を守る

子どもの権利には、子どもの意見表明権と、子どもの最善の利益を大切にすることがあります。

今年度の園内研修で、事例をあげて子どもの権利について話しあってきました。

職員は、子ども一人ひとりの言葉に耳を傾けたり、肯定的な言葉掛けや、思いを尊重できるような関わりを心がけています。

引き続き、保育の実践の中での言葉掛けや対応で、子どもの人権が守られているかなど園内研修を行っていきます。

2 主体性保育の実践

「子どもの主体性が尊重される保育の展開ができています」という設問には、13.8%の職員が「あまりできていない」と答えています。主体性を尊重した保育について学び、実践できるよう研修を受けたり、園内研修を行っていきます。

また、保育の振り返りをきちんと行うことで、見直しや改善に繋げて行きます。

3 専門職としての学び

「専門知識や技能を身に付ける努力をしている」「保育情勢や福祉サービスに関心を持ち、保育所が社会に貢献できることは何かを考え取り組んでいる」という設問には、あまりできていない、ほとんどできていない、という職員が多く見られました。

外部研修への参加はもちろんです、社会資源として保育園ができることを職員みんなで考えていかれるように、意識していきたいです。

外部研修への参加はもちろんです、社会資源として保育園ができることを職員みんなで考えていかれるように、意識していきたいです。

ポッポサポート同援ジャーの取組みを具体化し、広めていかれるようにします。

4 保護者の皆様と、丁寧に関わろうと態度や言葉遣いなど気をつけている職員が多くみられました。保護者の方の話に耳を傾けたり、相談しやすい雰囲気を作る努力をしています。一方で、努力が足りないと感じている職員や、伝え方や言葉遣いに悩む職員もあり、全体で共有し考えていきます。

5 アンケートのご協力ありがとうございました。

いただいたご意見を参考に、引き続き努力してまいります。

・門のセキュリティーに関して不安の声をいただいております。

不具合があった場合には、なるべく早く対応するよう心掛けております。

・人数確認は、部屋の移動時、園庭への出入りの時、保護者送迎時など出入りのある時、その他必要に応じて行っています。

また園外保育時は、移動時や散歩先での確認等頻繁に行っています。

・欠席連絡なくお休みのお子さんの把握は、おおむね9時30分から10時前頃にはできています。（お子さんにより登園時間や連絡時間にばらつきがあるため）

・第三者評価の結果をホームページに公表します。併せてご覧ください。